



きぼうのいずみ

蘇原第二小学校
学校だより
第10号
令和4年1月21日

令和3年度の締めくくり

校長 奥村 美樹恵

2022年がスタートしました。新たな目標を持ち、仲間や先生たちと楽しく活動に取り組む子供たちの姿は大変頼もしさを感じます。

2022年のスタートにあたり、令和3年度の「目指す蘇二っ子の姿」に向けて、残りの3ヶ月、どんな「チャレンジ」をして「どんなできた！」が増やせるか、一人一人目標をもってほしいと子供たちに話をしました。

▼ 1月11日の全校朝会のプレゼン

例えば、「自ら考えよりよく行動できる子」を目指し、自ら課題を見つけ計画的に学習に取り組む「蘇二っ子学習ノート」の活用や、授業中、自身の考えを仲間に広め、深め、共に学び合うための発言の充実と、そのために声の大きさを意識し、誰にでも聞こえる声で話すことの大切さを話しました。

また「思いやりつながり合える子」を

目指し、今年度特に力を入れてきた、「みんなのため、学級のため、学校のため」に係活動や、委員会活動、またボランティア活動を自分から進んで取り組むこと、また人と人との心を繋げる「あいさつ」の大切さと、もっともっとあいさつの輪を広げてほしいことも話しました。

そして「芯のある子」を目指し、体の健康のために遊びや運動を工夫しながら行うことや、心の健康のために、一人一人が仲間を大切にする心やそのための行動が大切さであるということ話をしました。また、誰もが気持ちよく過ごすことができるよう、美しい環境づくりに皆で取り組むために、蘇二小の自慢である「真心そうじ」をよりレベルアップできるよう話しました。

さっそく意識をしている子供たちの姿がありました。相手に自分の思いをしっかりと伝えようと、大きな声ではっきりと話そうと頑張っている姿を見かけました。また、蘇二っ子学習ノートの取り組みについては、以前全校に紹介した素晴らしい「蘇二っ子ノート」の取り組みをさっそく自分にも取り入れて、じっくりと家庭にて学びに取り組む児童の姿もありました。

蘇二小の子供たちは、心で感じ、よく生きようとする子がとっても多いと思います。子供たち一人一人が今年度の締めくくりとして、今の自分を振り返り、自分の強みを生かしてチャレンジしたり、また未開拓な新しいことにもチャレンジしたりしてほしいと願っています。そしてたくさん「できた！」を味わい、一人一人の力にしてほしいと思っています。

令和3年度はのこりわずか…
あなたはどんな「チャレンジ」をして、どんな「できた！」をふやしますか？

たとえば…

<p>じぶん かんが 自分で考え よりよく こうどう 行動できる子</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 蘇二っ子学習ノート ◆ 授業中の発言 …声の大きさも 	<p>おも 思いやり つながり あ 合える子</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 係活動、委員会活動 ◆ ボランティア活動 ◆ あいさつ 	<p>しん 芯の ある子</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 体の健康…遊びや運動 ◆ 心の健康…なかまを大切に にする ◆ うつくしいかんきょうづくり …そうじ
---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------